

取材先	中東地区まちづくり協議会		
企画名	写真で見る北浦街道のお宝展 ～地域の宝をもっと知ろう・伝えよう・つながろう～		
備考			
取材日	2020年7月17日(金) 天候[晴れ] [10:00~11:00]	取材地	田中絹代ぶんか館

レポート

中東地区まちづくり協議会・地域づくり部会の主な活動は、北浦街道のまち興し事業・ふれあい農園体験交流会・門松づくりなどです。北浦街道のまち興し事業では、まち歩きとお宝探し・ペットボトルツリーの作成点灯・桜並木ライトアップなどがあります。

昨年引き続き、まち興し事業の一つとしてパネル展が開催されました。展示の資料を収集しておられた会員の山縣邦光さんは、「温故知新『もっと知ろう 伝えよう つながろう』をモットーに北浦街道はかつては栄えた街、お宝がある。先ずは知って、知ると誰かに伝えたい、そしてつながっていく。若い人も自分の地域の歴史に興味を持ち下関を自慢に思い誇れたらいい、まずは感じてほしい。」と話されました。

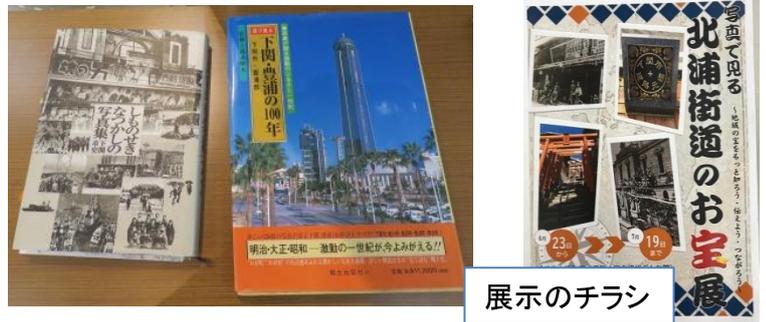
展示では、地域内の北浦街道である唐戸から貴船町までの街道筋の名所や人物を紹介した写真、書籍等が展示されています。それぞれに“お宝エピソード”として解説も付いており、北浦街道の知らなかったことがたくさん見え、昔の下関と今の下関の魅力を分かりやすく知ることができました。

今年は新型コロナウイルスの関係で事業も思うようにできないでしょうが、歴史のまち下関、特に唐戸周辺は今回紹介しきれないお宝がたくさんあると思います。田中英行会長は「出来る範囲で活動しないと継続はできない」と続けて開催していきたいと話されました。

自分の住んでいる下関の歴史を感じ知るきっかけ作りに、次回のまち歩きやお宝展に参加してみたいかですか。



お宝展 会場の様子



展示のチラシ



田中部会長(右)と山縣氏



展示書籍の一部

状況写真